



令和二年度 全県消防団長研修会

題 字  
初代会長 松野盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 高橋正尚  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

令和二年度全国統一防火標語  
その火事を  
防ぐあなたに  
金メダル



松井 豊氏

講 演

『消防団員における』

惨事ストレス対策について』  
講師：筑波大学名誉教授  
松井 豊氏

令和二年度全県消防団長研修会が  
十一月二三日(金)、イヤタカ(秋田市  
中通)で、消防団長など消防関係者約  
六〇名が参加し開催されました。  
筑波大学名誉教授 松井豊氏の講  
演、秋田市防災安全対策課副参事 武  
藤学氏による秋田市消防本部の取組  
報告、秋田県総合防災課 宇佐美晃市  
主幹の司会で意見交換を行いました。

講演の主な内容

- 一 東日本大震災の消防団員の心理
- (1) 被災の特徴
- (2) 大震災での消防団員の活動状況
- (3) 被災地団員へのストレス調査
- 二 惨事ストレス
- (1) 惨事ストレスの定義
- (2) 急性ストレス障害
- (3) 大震災で生じたストレス症状
- 三 惨事ストレスのケアと対策
- (1) 被災者の急性期のストレスケア
- (2) 長期的ケア(個人内で)
- (3) 長期的ケア(人との間で)
- (4) 組織によるケア
- (5) グループミーティング

※ 惨事ストレスに興味のある方は、NPO法人ピアカウンセラー協会のHPをご覧ください。

取 組 報 告

『秋田市消防本部の』

惨事ストレス対策』

講師：秋田市防災安全対策課  
副参事 武藤 学氏

意 見 交 換



武藤 学氏

- ① 消防団内の惨事ストレス対策の体制づくりは、どう進めたらよいか。  
団内で惨事ストレスや傾聴を勉強する機会を作るのが第一歩。聞き上手な団員を登用したり、近隣の臨床心理士に依頼するなど、団の状況に合った仕組みにするのがよい。
- ② 団員が凄惨な現場に遭遇した後の日常生活が心配だ。  
ストレスに強い人、繊細な人など多様であることを理解することが大事。繊細な人が話せる人、話せる場を確保することが必要。
- ③ 惨事ストレスは容易には忘れられない。周囲はどう助言すべきか。  
無理に忘れようとする苦しくなる。忘れられないのは当然と考えて、忘れないことが逆に被災者を大切にする事になると助言してほしい。



北秋田市 戸島団長



意見交換の様子

④ 遭難者救助の現場で心配する家族の前で陽気に振る舞う団員を叱責したことがある。  
 遺体捜索などの強いストレスによって興奮状態になり、盛り上がる場合があることを理解してほしい。そのうえで不謹慎であることを冷静に諭すように心掛けてほしい。



東成瀬村 鈴木団長



能代市 渡邊団長



秋田市 大島団長

### 臨時理事会

秋田県消防協会

一般財団法人秋田県消防協会臨時理事会は、一月一三日(金)、イヤタカで開催されました。  
 主な審議内容は次のとおりです。

#### 【協議事項】

##### ①職員給料等の見直し

現行の給料表と支給額を見直すこと、運営費に充当するため会費を値上げすることが提案されました。協議の結果、大筋で了承が得られ、第三回理事会で決定することになりました。

##### ②第五八回秋田県消防操法大会

今年度に続き来年度も中止になると団員の士気や技術の低下が懸念されるため、原則として全国大会にかかわらず県大会を開催することとしました。

#### ■開催日時

令和三年八月二一日(土)

《予備日》八月二八日(土)《》

#### ■開催場所

秋田県消防学校

#### 【報告事項】

①第三回理事会及び消防功労者表彰式の開催日

#### ■第三回理事会

令和三年二月二六日(金)

午後四時～イヤタカ

#### ■消防功労者表彰式

令和三年三月一九日(金)

午後～秋田県庁第二庁舎

②全日本消防人共済会「防火ポスターコンクール」の審査結果

本県から応募した 大館市立第一中学校二年 佐藤友楽さんの作品が佳作に入選しました。

③新日本消防会館建設に対する寄付金の状況

本県の寄付金総額は次のとおりです。ご協力いただきました皆様には心から感謝申し上げます。

#### ■一三消防団一消防本部

九、一七九、七〇〇円

#### ■一消防団

日本消防協会へ直接送金



令和二年秋の叙勲・褒章  
第三五回危険業務従事者叙勲

令和二年秋の叙勲

◆瑞宝小綬章(二名)

元秋田市消防本部  
消防正監 佐藤賢治

◆瑞宝単光章(二二名)

元湯上市消防団	分団長	飯嶋睦夫
元羽後町消防団	分団長	猪岡專一
元山内村消防団	分団長	太田新一
元由利本荘市消防団	分団長	小野貞之助
元八郎潟町消防団	副団長	北嶋透志雄
元琴丘町消防団	分団長	工藤正信
元横手市平鹿消防団	副団長	齊藤孝則
元大仙市消防団	副団長	齊藤博
元湯上市消防団	分団長	櫻庭政美
元湯沢市消防団	分団長	佐々木長一
元秋田市消防団	分団長	佐々木吉秋

元大仙市消防団	副団長	佐藤裕藏
元男鹿市消防団	分団長	菅原健策
元北秋田市消防団	分団長	鈴木慶勝
元仙北市消防団	分団長	相馬武夫
元小坂町消防団	分団長	中村脩太郎
元由利本荘市消防団	分団長	那須勝弘
元湯沢市消防団	副団長	西成嘉一
元秋田市消防団	副団長	備後孫忠
元横手市消防団	分団長	藤原寅雄
元北秋田市消防団	分団長	堀口裕咲
元三種町消防団	副団長	三浦泰昭

◆藍綬褒章(一名)  
元八郎潟町消防団  
分団長 齊藤隆男

◆瑞宝双光章(七名)  
元能代山本広域市町村圏組合消防本部  
消防司令長 齊藤英一

令和二年秋の褒章

第三五回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝単光章(一名)  
元横手市消防本部  
消防司令長 照井富雄

元由利本荘市消防本部  
消防監 佐々木助行

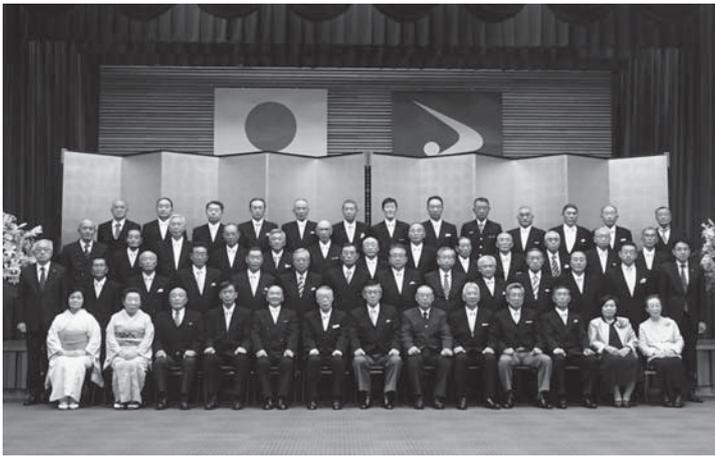
元五城目町消防本部  
消防司令長 佐藤與志美

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
消防監 田口智大

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部  
消防司令長 西成一慶

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部  
消防司令長 沼倉亘

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
消防司令長 松田浩二



令和二年秋の叙勲・褒章及び第三五回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日に発令されました。本県の消防関係では、秋の叙勲で二三名、褒章一名、危険業務従事者叙勲で八名が受章されました。一月四日に秋田県正庁において、知事伝達式が行われました。受章者の皆様、誠におめでとございます。(記載は五十音順)



知事伝達式

# 消防団員惨事ストレス 対策セミナー

消防団員惨事ストレス対策セミナーが、十一月十四日(土)、イヤタカで、消防団員、消防本部職員、市町村担当者など二五名が参加し開催されました。

午前中、筑波大学名誉教授 松井豊氏が、前日の全県消防団長研修会に引き続き「消防団員の惨事ストレス対策」について講義しました。

午後から、日本消防ピアカウンセラー協会副理事長 幾田雅明氏が加わり、惨事ストレス対策として傾聴の実習を行いました。

幾田氏は、東京消防庁の国際消防救助隊員として台湾大地震災害で活動したほか、数多くの凄惨な現場活動によって自らも惨事ストレスを体験されました。

こうした経験を踏まえ、現在は、消防大学のほか、各県の消防学校や消防本部でカウンセリングの実践や講演を行っています。

講義では、参加者が傾聴の初歩的な技法を体験しながら学びました。

参加者からは、「惨事ストレスの仕組みと対策を分かりやすく学ぶことができた」「ストレス対策や傾聴技法が幅広く活用できることが分かった」などの感想が寄せられました。



幾 田 雅 明 氏



松 井 豊 氏



傾聴(マスクをして)



講義の様子



傾聴の感想は？

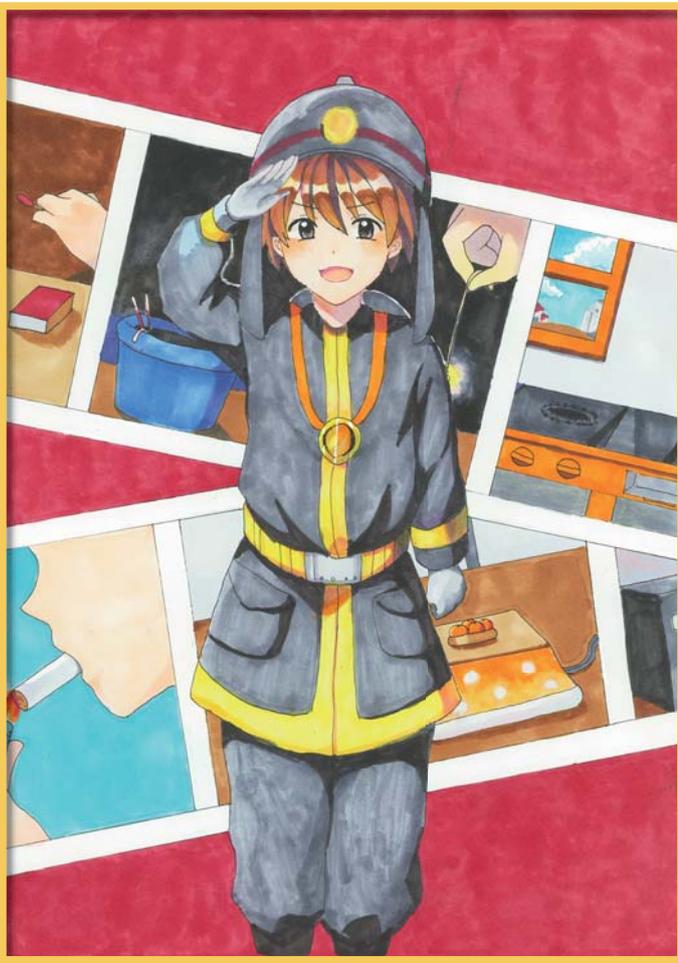


傾聴(マスクをはずして)

### 防火ポスターコンクール 佐藤友楽さんの作品が入選

令和二年度防火ポスターコンクール(生活協同組合全日本消防人共済会主催)の審査が先頃行われ、本県から応募した大館市立第一中学校二年 佐藤友楽さんの作品が佳作に入選しました。

同コンクールは、各都道府県が二点以内を選定して応募するもので、佐藤さんの作品は共済会本部の最終審査一〇点に選出されました。佐藤さん、誠におめでとうございませう。これからも素敵な作品を描いてください。



佐藤友楽さんの作品

### 〔コンクールの概要〕

#### ■目的

全国統一防火標語にあわせて、子供達が火災予防についての意見や考えを自由な発想でイメージし絵画として表現することで、防火に関する意識を高める。

#### ■応募資格

四年生以上の小学生及び中学生

#### ■表彰等

- ①最優秀賞 一名
  - ②優秀賞 二名
  - ③佳作 若干名
- 入選者には賞状及び記念品を贈呈

### 消防団員に対する救助資機材の 技術講習会を実施しました

秋田県総合防災課

一〇月三二日(土)、秋田県消防学校において、消防団員救助用資機材技術講習会が開催されました。

近年の災害の大規模化や広域化に伴い、救助活動における消防団員の対応能力の向上を図ることを目的としています。

当日は、一九消防団から三二名が参加し座学のほか、①チェーンソーによる木材の切断 ②エンジンカッターによる丸鋼管の切断 ③油圧切断機による廃車車両のドア開放及び切断の実技講習が行われました。



令和2年度 消防団員指導員研修受講者名簿

消 防 団 名	階 級	氏 名
鹿角市消防団	部 長	湯 沢 託 守
大館市消防団	分 団 長	羽 柴 睦 廣
北秋田市消防団	部 長	森 川 正 美
上小阿仁村消防団	部 長	鈴 木 常 義
能代市消防団	分 団 長	小 玉 昭 三
八峰町消防団	副分団長	山 本 美 立
男鹿市消防団	班 長	大 越 秀 一
男鹿市消防団	班 長	伊 藤 勝 一
男鹿市消防団	班 長	竹 田 勝 一
井川町消防団	部 長	松 田 総 一
大潟村消防団	部 長	澤田石 昌 文
秋田市消防団	分 団 長	太 田 清 志
秋田市消防団	部 長	加賀谷 速 人
由利本荘市消防団	班 長	木 村 昇 智
由利本荘市消防団	部 長	三 浦 智 崇
由利本荘市消防団	班 長	佐々木 正 樹
由利本荘市消防団	班 長	佐 藤 博 美
由利本荘市消防団	部 長	佐々木 千 秋
にかほ市消防団	分 団 長	佐々木 智 也
大仙市消防団	副分団長	須 田 雅 博
仙北市消防団	分 団 長	蘭 藤 博 行
仙北市消防団	分 団 長	武 藤 重 和
美郷町消防団	部 長	煙 山 栄 司
横手市消防団	分 団 長	高 橋 誠 一
横手市消防団	分 団 長	柿 崎 豊 一
横手市消防団	副分団長	佐 藤 淳 一
横手市消防団	副分団長	井 筒 勝 行
横手市消防団	副分団長	福 田 隆 盛
横手市消防団	副分団長	柴 田 政 信
横手市消防団	副分団長	高 橋 明 彦
横手市消防団	副分団長	佐々木 健 一
湯沢市消防団	分 団 長	樋 渡 昭 彦
湯沢市消防団	副分団長	藤 原 幸 雄
羽後町消防団	分 団 長	高 橋 清 一

令和2年度消防団員指導員研修は、二月二十八日(土)、二十九日(日)の二日間、秋田県消防学校で開催され、一八消防団から三五名が参加しました。

研修では、幹部の心得、現場指揮・安全管理、消防団の活性化などの座学のほか、応急手当、救助活動などの実技が行われました。

令和2年度  
消防団員指導員研修  
秋田県消防学校



第一〇回女性消防団員教育は、一月一〇日(土)、十一日(日)の二日間、秋田県消防学校で開催され、七消防団から一六名が参加しました。

研修では、消防活動訓練(訓練礼式、消火訓練、放水要領、結索要領、煙体験、地震体験)、救急訓練(応急手当講習)等が行われました。

第一〇回  
女性消防団員教育  
秋田県消防学校



支部情報アラカルト

岩見川の堤防損壊に  
対する警戒活動

八月九日、秋田市に大雨警報と洪水警報が相次いで発表され、各分団が警戒活動を続けているさなか、岩見川堤防が増水により崩れているとの通報がありました。

秋田市は、堤防決壊に備え消防団に出動を要請するとともに、住民二〇四世帯、四八五人に避難勧告を発令しました。

応急措置として、危険箇所裏法面に土のうを積んで補強することに



しました。現場に参集した消防団員(河辺方面隊長以下一一一名)が土のう作り班、運搬班、積み上げ班に分かれて作業を行い、三〇mに渡って五、六段に積み上げました。雨はその後断続的に降り続いたものの、岩見ダムの放流調整や消防団の活躍により、堤防決壊や人的被害を免れました。



〔情報提供〕秋田市支部

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和2年		令和元年			同期比較	
	11月	累計	11月	累計	年計	11月	累計
建 物	23	144	13	176	198	10	-32
林 野	2	25	0	32	32	2	-7
車 輛	2	25	6	30	31	-4	-5
その他	3	79	0	92	95	3	-13
合 計	30	273	19	330	356	11	-57
死者数	4	18	2	17	18	2	1
負傷者数	6	43	9	72	85	-3	-29

消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880  
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検  
トーハツポンプ | キンバイホース  
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)